

フレンドリーオンライン便り

第2号 2024年7月16日発行

1 学期お世話になりました

4月19日からスタートした本年度のフレンドリーオンラインも、7月12日に一学期の配信を終えました。振り返ってみると、FO学習支援員3人のうち2人が交代するという不安の中のスタートでしたが、皆様方の温かいご支援のおかげでここまで配信をすることができました。

生徒の皆さんは、自分の思いや考えをリアクションマークやチャットで応えたり、振り返りシートで感想を述べたりと自分のペースで学び続けることができました。私たち支援員は生徒の皆さんのそれぞれにきらりと光るものに触れることができ、元気をもらっているところです。二学期も子どもたちの安心と成長のために、しっかりと頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



芳野中にいた玉虫

フレンドリーオンライン中学校保護者会

FOJHの1学期の配信も終わろうとしています。そこで、保護者のみなさんと1学期の配信を振り返り、夏休みの過ごし方や2学期からの配信について共通理解を図るため、下記の通り、オンラインでの「保護者会」を計画しました。ご多用中とは存じますが、ぜひご参加のほどお願いいたします。

【期日】令和6年7月18日(木)

【時間】午後2時00分～3時00分(予定)

参加が可能な保護者のみなさんは、上の日時に、お子さんのタブレット、または、インターネットのできる端末やスマートフォンから、ZOOMミーティングにご参加ください。

安心できる居場所に

フレンドリーオンライン中学校では、一番に、“みなさんがいつでも安心して参加できる、心地のいい居場所”となれることを目指しています。その上で、“ドキドキワクワク いろんな人と楽しく学習”を本年度のテーマとして取り組んでいるのですが、私たち支援員だけが毎日楽しく配信させていただいているだけなのかもしれません。

そんな中、昨年度までフレンドリーオンラインに参加していた生徒さん(現在高校1年生)が、フレンドリーオンラインのことについて熊本朝日放送(KAB)のインタビューに応じてくれました。過日、KABで報道されましたのでご覧になった方もいらっしゃると思いますが、その報道を通して私たちは改めてフレンドリーオンラインが目指すべきところを再認識できました。

*放送された動画がYouTubeにアップされています。FOのWebページにリンクがあります。右のQRコードからご利用ください。



「Newsよもやま」より

フレンドリーオンラインのWebページに週1回、「Newsよもやま」を掲載してきました。その内容を振り返ってみます。

- ①4/22「ご挨拶」、②5/1「金峰山の読み方」、③5/9「ミカンの花」、④5/15「運動会練習」、⑤5/21「小中合同運動会」、⑥5/28「ミステリーツアー」、⑦6/7「定例会」、⑧6/14「スタジオ訪問」、⑨6/20「紫から白? 白から紫?」、⑩6/25「つながりタイム」、⑪7/2「博物館出前授業」、⑫7/5「アート教室」、⑬7/16「1学期終業式」

今、読み返してみても、それぞれの出来事や自然を見た感想がはつきりと思い出されます。もちろん、ここには取り上げられなかったこともたくさんあります。2学期も「Newsよもやま」の内容が充実するよう、創意工夫を凝らしたプログラムを考えていきたいと思います。

*「Newsよもやま」は、FOのWebページに掲載しています。

昨年度の「Newsあれこれ」もあります。

よろしければ、右のQRコードからお読みください。



1 学期を振り返って

- 小学校にだけ勤務していた私が、「いきなり中学校、それもオンラインによる配信」と聞き、「果たして自分に務まるのだろうか」と不安感一杯の中でスタートした4月。ありがたいことに優しい生徒さんや温かい仲間に関われ、楽しく充実した1学期を過ごすことができました。夏休みには、様々な方面から情報を得て、このFO配信がさらにパワーアップできるよう自己研鑽に励みたいと思います。みなさん、夏休みを思い切り楽しんでください。(林田)
- 4月の配信開始から12週間、この一学期も瞬間でしたが、その中身はとても充実していたと思います。これも、芳野中・河内中の先生方、関係機関の方々のご協力、そして、フレンドリーオンラインに参加する生徒のみなさんの頑張りがあったからだと思います。ありがとうございました。みなさん、楽しい夏休みをお過ごしください。(児玉)

- 1学期を振り返ってみて思うのは、本当に楽しかったなあという事です。スタジオからの配信になかなか慣れなかったのですが、それでも、生徒の皆さん



からの温かいリアクションや先生方のやり取りに、元気と勇気をもらい頑張れました。週に1度の数学の時間も、皆さんの

のすばらしい考えに触れることができ、私にとってもとても学びになる時間でした。2学期以降も、数学の本質に迫りつつ、考えることを楽しめるような時間にしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。(高木)